

A close-up photograph of a hand holding a single, ripe, dark red plum. The plum is attached to a branch with several green leaves. In the background, other branches of the tree are visible, some with green and some with red plums. The lighting is bright and natural, suggesting an outdoor setting.

# ROCK FIELD report

第35期のご報告

平成18年5月1日～平成19年4月30日

ROCK FIELD CO., LTD.

証券コード：2910



株主の皆様へ

## SOZAIオンリーワン企業を目指して

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、平成19年4月30日もちまして、第35期の事業年度を終了いたしましたので、事業の概況についてご報告申し上げます。

### 経営環境について

当連結会計年度における日本経済は、企業収益の改善を背景にした民間設備投資の増加や雇用情勢の改善による個人消費の持ち直しの兆しが見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

そうざい業界におきましては、市場は引き続き拡大していますが、百貨店・スーパー・コンビニなどのそうざい部門の強化による競争激化、加えて天候不順、人材確保難など経営環境は厳しい状況にありました。

### 業績について

このような状況の中、当社グループでは、「健康」「安心・安全」はもちろんのこと、「より上質」を求める顧客ニーズに対応するため、高品質・高付加価値商品の開発を行うとともに、地域別、曜日別、時間帯別、店舗タイプ別に対応した品揃え、販売方法、販売促進を実践するなど売り方の変革に取り組んでまいりました。生産部門

では工数削減など効率化に取り組み、物流部門では首都圏の物流再編を行い、効率化に取り組んでまいりました。

また、食育への取り組みとして、農林水産省は「にっぽん食育推進事業」における「食事バランスガイド」の普及・啓発を図っており、それを実践する場として、当社がモデル企業の1つとして選ばれ、店舗での商品の販売を通じてその普及・啓発に努めてまいりました。

新業態といたしましては、食の健康と安心・安全などを価値観とする当社とアメリカのパークレーで伝説的なレストランとして知られる「シェ・パニーズ」のオーナーであるアリス・ウォーターズの哲学を受け継いだシェフ ジェニファーW.シャーマンとのコラボレーションで生まれた「ビーオーガニック」「エコロジー」「サステナブル」をテーマとした新ブランド「be Organic」の1号店を名古屋駅前新しく完成したミッドランドスクエアに出店いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は44,686百万円（前期比6.3%増）、経常利益は2,273百万円（前期比15.2%増）、当期純利益は1,162百万円（前期比15.2%増）となりました。

### 今後の取り組み

当社グループといたしましては、2005年5月より第5次中期経営計画「イノベーション0808」をスタートさせ、企業理念・価値観の具現化を目指してまいりました。その実現を通して、付加価値・収益性の高いSOZAIオンリーワン企業を目指しております。

次期は中期経営計画の最終年度であり、その取り組みの基本戦略として、①高付加価値政策 ②選択と集中 ③投資対効果の追求 ④暗黙知の形式知化 ⑤人財の育成の徹底・遂行をしてまいります。当社グループは、以上の課題への対処に取り組み、さらなる企業価値、株主価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年7月

代表取締役社長 岩田弘三

よりナチュラルでよりヘルシーに、よりおいしく、より環境にやさしく・・・

## 新ブランド **beOrganic** を立ち上げました。

新ブランド「be Organic」の1号店を2007年3月、名古屋のミッドランドスクエアに出店いたしました。

また、2号店を2007年6月、伊勢丹新宿店に出店いたしました。

「be Organic」とは、「限りなくオーガニックに向かって」という意味で、

食の健康と安心・安全をフィロソフィーとするロック・フィールドと

ジェニファー W.シャーマンとのコラボレーションによって生まれました。

生産者の真心が注がれた旬の食材と、素材からのインスピレーションで

料理を手がける彼女の才能が、この上ないやさしさに満ちたひと皿を生み出します。

自然に、生産者に感謝しながら、素材の味わいをシンプルに楽しむ。

そのスタイルこそがオーガニックであり、私たちが描くサステナブル(持続可能)な未来でもあります。



### be Organicとは

- その素材の持つ美味しさが十分感じられること
- どのようにして育てられたかトレースできること(生産者の顔が見えること)
- 健康的で安心、安全が確保されること、そして環境に優しいこと



Jennifer W. Sherman

全米におけるオーガニックムーブメントのきっかけをつくったカリフォルニア・パークレーの伝説的レストラン「シェ・パニース」の元シェフ。「シェ・パニース」オーナーの片腕として、英チャールズ皇太子がアメリカを訪れた際の夕食会、ヒラリー・クリントン上院議員のディナーパーティなどにおいて厨房を取り仕切る。食の在り方、生産者、素材、環境、調理法などに対して優れた感性を持ち、その実力を発揮している。

ミッドランドスクエア店

営業時間 11:00→20:00



伊勢丹新宿店

営業時間 10:00→20:00



食卓がパッと華やぐスタイリッシュサラダ

## 新商品 Pa·Sa·La【パ・サ・ラ】を 発売いたしました。

中食業界においても成熟化が進み、顧客ニーズはますます多様になってきています。

当社「RF1」ブランドでは、お客様に新しい価値を提案する商品を目指して、  
新メニュー「パサラ」を開発、発売いたしました。

「パサラ」は、味わいはもちろん、盛りつけという楽しみをお客様に提供する

画期的なコンセプトに基づいて作られ、ご家庭においても、

レストランでサービスされるような美しいサラダをお召し上がりいただくことができます。

「RF1」の限定店舗にて、多彩なメニューを取り揃えています。

ぜひ、お試しください。



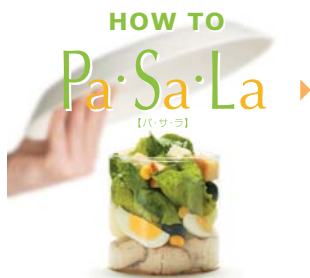
サラダのおいしさに、  
盛りつける楽しみを。

### ◎食卓に、華を

いつもの食卓に華やかさをプラスして、こころ豊かな時間を過ごしてほしい。  
そんな当社の想いをカタチにしています。

### ◎簡単なのに、本格的

お気に入りのお皿に、筒状の容器を返し、引き上げるだけ。  
忙しい方にも、贅沢な雰囲気テーブルを楽しんでいただけます。



Step1

「Pa·Sa·La」の上にお皿をかぶせます。



Step2

お皿を手で押えながら、「Pa·Sa·La」と一緒にひっくり返します。




Step3

「Pa·Sa·La」の容器をゆっくり上に引き上げます。



Step4

具材のバランスを整えて完成です。



## フルーツ山麓 山梨から、 この季節にしかない、 旬のプラムを。

私たちロック・フィールドは、安心・安全はもちろん、  
旬の美味しさにとてもこだわっています。

足の早いフルーツでも、それは同じです。

お客様に本当の美味しさを知ってもらうため、  
生産者の方々にご協力いただきながら、  
厳選した旬の素材を商品に用いています。

このたびは、夏限定の味わい、

当社と生産者のこだわりプラムをご紹介します。

## 産地のこだわり

3,000m級の山々に囲まれた山梨県は、自然が豊かです。県内には、日本三大扇状地のひとつ、御勅使川扇状地（みだいがわせんじょうち）が広がっています。昼と夜の温度差が大きい山の気候と、砂と小石でできた扇状地の土壌。果物の栽培に最適な条件を揃えた山梨県のフルーツは、糖度の高いことが特徴です。プラムは全国シェアの約6割を占めており、栽培面積、生産量ともに日本一。当社では、山梨県の南アルプス市、甲州市、山梨市を産地とする旬のプラムを厳選し使用しています。

## そのとき、一番美味しいものを

他のフルーツと同じように、プラムにもたくさんの品種があります。そして品種によって、少しずつですが、旬の時期も違います。当社では、旬の味わいを求めて、「大石早生」、「ソルダム」、「太陽」など、時期によって商品に用いる品種を変えます。プラムの旬は短く、それぞれ1〜2週間程度。手間やロスを考えるともったいないのですが、そのとき、一番美味しいものを。これが、ロック・フィールドのこだわりです。



熟し具合をチェックする農家の方。

## 豊かな自然とつくる、美味

プラムを提供してくださる農家の方々は「果樹の状態に合わせて、人が成長の手助けをしてあげれば、樹が自然に美味しい実をつけてくれます」と言います。土地がもたない、収穫量を増やしたいと、人の勝手です。果樹を多く植えるのではなく、太陽の光が果樹園の隅々にまで届くよう、樹と樹のあいだを広く空け、樹が気持ちいい環境をつくることで、美味しいプラムを実らせています。このほかにも、生産者の方々は、長年の経験から果樹の状態をしっかりと見極め、様々な手助けをされています。

## プラムの本当の味を知ってみたい

プラムを酸っぱい果物だと思っている人は、多いのではないのでしょうか。プラムは非常に足の早いフルーツのため、一般の店頭で並ぶほとんどの品は、完熟前に収穫されたものです。そのため、プラムの味は誤解されているように思います。ロック・フィールドでは、自社物流の強みを活かして、皆様に、本当の味をお届けします。「今年は雨が少なかったので、味がとくに良いはず。」と、農家の方々。素材の良さをそのままに味わえる、当社のフレッシュジュースをどうぞ。

そして、皆様のお手元へ。

これまで味わったことのないプラムの濃厚な甘みを、ぜひお試しください。リンゴ酸やクエン酸などの有機酸が豊富に含まれる、夏にぴったりのフルーツジュースです。

〈ベジテリア〉  
「疲れたカラダ 元気にプラム」……350円

※季節限定。一部取り扱いのない店舗、時間帯がございます。ご了承ください。

VEGETERIA  
Watermelon, Pear, Fruit Juice



# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当連結会計年度 (平成19年4月30日現在)	前連結会計年度 (平成18年4月30日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	9,418	9,471
現金及び預金	5,163	5,607
売掛金	3,454	3,157
たな卸資産	298	253
繰延税金資産	300	288
その他	203	165
貸倒引当金	△ 1	△ 1
<b>固定資産</b>	<b>16,244</b>	<b>16,441</b>
有形固定資産	13,112	13,746
建物及び構築物	8,881	9,420
機械装置及び運搬具	504	541
土地	3,003	3,019
建設仮勘定	6	10
その他	716	755
無形固定資産	413	464
投資その他の資産	2,718	2,230
投資有価証券	452	584
差入保証金	616	656
繰延税金資産	42	—
長期性預金	1,000	—
その他	607	988
<b>資産合計</b>	<b>25,663</b>	<b>25,913</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)

科 目	当連結会計年度 (平成19年4月30日現在)	前連結会計年度 (平成18年4月30日現在)
<b>負債の部</b>		
流動負債	4,920	5,261
買掛金	1,168	1,067
1年内償還予定社債	—	335
1年内返済予定長期借入金	771	919
未払金	883	945
未払費用	888	831
未払法人税等	603	593
賞与引当金	492	453
その他	113	115
<b>固定負債</b>	<b>1,457</b>	<b>2,140</b>
長期借入金	1,457	2,137
その他	—	3
<b>負債合計</b>	<b>6,378</b>	<b>7,402</b>
<b>資本の部</b>		
資本金	—	5,544
資本剰余金	—	5,861
利益剰余金	—	7,124
その他有価証券評価差額金	—	195
為替換算調整勘定	—	△ 6
自己株式	—	△ 207
<b>資本合計</b>	<b>—</b>	<b>18,511</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>—</b>	<b>25,913</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	19,166	—
資本金	5,544	—
資本剰余金	5,861	—
利益剰余金	7,968	—
自己株式	△208	—
評価・換算差額等	119	—
その他有価証券評価差額金	121	—
為替換算調整勘定	△1	—
<b>純資産合計</b>	<b>19,285</b>	<b>—</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>25,663</b>	<b>—</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当連結会計年度 (自平成18年5月1日 至平成19年4月30日)		前連結会計年度 (自平成17年5月1日 至平成18年4月30日)	
	売上高	44,686	42,027	
売上原価	19,513	18,567		
売上総利益	25,172	23,459		
販売費及び一般管理費	22,907	21,481		
営業利益	2,265	1,977		
営業外収益	47	57		
受取利息	3	0		
受取配当金	5	20		
保険配当金	14	13		
受取紹介手数料	10	—		
その他	13	22		
営業外費用	39	61		
支払利息	34	48		
為替差損	4	—		
その他	1	13		
経常利益	2,273	1,973		
特別利益	35	4		
貸倒引当金戻入益	—	4		
保育所建設補助金	23	—		
固定資産売却益	12	—		
特別損失	256	175		
固定資産除売却損	111	143		
役員退職功労金	—	25		
店舗等閉鎖に伴う損失	132	—		
減損損失	10	6		
投資有価証券評価損	1	—		
税金等調整前当期純利益	2,052	1,803		
法人税、住民税及び事業税	896	751		
法人税等調整額	△6	42		
当期純利益	1,162	1,009		

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当連結会計年度 (自平成18年5月1日 至平成19年4月30日)		前連結会計年度 (自平成17年5月1日 至平成18年4月30日)	
	営業活動によるキャッシュ・フロー	2,698	3,224	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,661	△1,061		
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,482	△1,448		
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	3		
現金及び現金同等物の増加額(△減少額)	△444	718		
現金及び現金同等物の期首残高	5,607	4,878		
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	10		
現金及び現金同等物の期末残高	5,163	5,607		

## 連結株主資本等変動計算書 当連結会計年度(自平成18年5月1日 至平成19年4月30日)

(単位:百万円)

	株 主 資 本					評価・換算差額等			純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計	
平成18年4月30日 残高	5,544	5,861	7,124	△207	18,322	195	△6	188	18,511
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当(注)			△159		△159				△159
剰余金の配当			△159		△159				△159
当期純利益			1,162		1,162				1,162
自己株式の取得				△0	△0				△0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						△74	5	△68	△68
連結会計年度中の変動額合計	—	—	844	△0	843	△74	5	△68	774
平成19年4月30日 残高	5,544	5,861	7,968	△208	19,166	121	△1	119	19,285

(注)平成18年7月25日の定時株主総会における利益処分項目であります。

# 単体財務諸表

## 貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当事業年度 (平成19年4月30日現在)	前事業年度 (平成18年4月30日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	9,238	9,317
現金及び預金	5,007	5,483
売掛金	3,444	3,150
製品	50	53
原材料	145	114
仕掛品	50	40
貯蔵品	38	34
前払費用	129	101
繰延税金資産	298	273
その他	74	65
貸倒引当金	△ 1	△ 1
固定資産	16,571	16,729
有形固定資産	13,027	13,639
建物	8,188	8,644
構築物	644	709
機械及び装置	438	509
車両運搬具	47	12
工具器具備品	699	732
土地	3,003	3,019
建設仮勘定	6	10
無形固定資産	362	397
商標権	21	24
ソフトウェア	321	353
電話加入権	19	19
投資その他の資産	3,181	2,693
投資有価証券	452	584
関係会社株式	465	465
出資金	125	120
長期前払費用	361	347
繰延税金資産	42	—
差入保証金	615	655
会員権	119	119
長期性預金	1,000	400
資産合計	25,810	26,046

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)

科 目	当事業年度 (平成19年4月30日現在)	前事業年度 (平成18年4月30日現在)
<b>負債の部</b>		
流動負債	4,875	5,222
買掛金	1,164	1,072
1年内償還予定社債	—	335
1年内返済予定長期借入金	771	919
未払金	862	920
未払費用	877	822
未払法人税等	597	585
預り金	112	111
賞与引当金	488	452
その他	0	2
固定負債	1,457	2,140
長期借入金	1,457	2,137
その他	—	3
負債合計	6,333	7,363
<b>資本の部</b>		
資本金	—	5,544
資本剰余金	—	5,861
資本準備金	—	5,861
利益剰余金	—	7,289
利益準備金	—	179
任意積立金	—	—
配当準備積立金	—	100
別途積立金	—	5,796
当期末処分利益	—	1,214
その他有価証券評価差額金	—	195
自己株式	—	△ 207
資本合計	—	18,683
負債及び資本合計	—	26,046
<b>純資産の部</b>		
株主資本	19,356	—
資本金	5,544	—
資本剰余金	5,861	—
資本準備金	5,861	—
利益剰余金	8,158	—
利益準備金	179	—
その他利益剰余金	—	—
配当準備積立金	100	—
別途積立金	6,396	—
固定資産圧縮積立金	13	—
繰越利益剰余金	1,470	—
自己株式	△ 208	—
評価・換算差額等	121	—
その他有価証券評価差額金	121	—
純資産合計	19,477	—
負債純資産合計	25,810	—

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

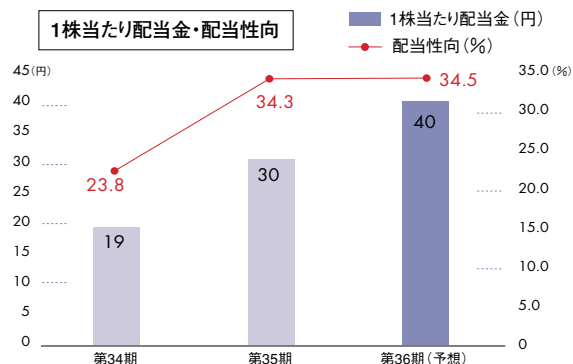
## 損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当事業年度 (自平成18年5月1日 至平成19年4月30日)	前事業年度 (自平成17年5月1日 至平成18年4月30日)
売上高	44,433	41,880
売上原価	19,375	18,486
売上総利益	25,057	23,393
販売費及び一般管理費	22,789	21,375
営業利益	2,268	2,017
営業外収益	48	57
営業外費用	35	60
経常利益	2,281	2,014
特別利益	35	4
特別損失	256	175
税引前当期純利益	2,060	1,843
法人税、住民税及び事業税	892	751
法人税等調整額	△19	42
当期純利益	1,187	1,049
前期繰越利益	—	257
中間配当額	—	92
当期末処分利益	—	1,214

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 1株当たり配当金・配当性向



## 利益分配に関する基本方針

当社は、株主様への利益還元を経営の重要施策と位置づけ、利益分配につきましては、内部留保に留意しつつ安定的な配当を継続的に行うことを基本とし、業績に応じて総合的に決定しております。この方針のもと、当期の期末配当金につきましては、普通配当18円とする案を第35回定時株主総会に付議させていただきました。従いまして、通期の配当額は、中間期配当1株につき12円と合わせて30円、連結での配当性向は34.3%となります。なお、内部留保金の使途につきましては、経営基盤の強化と企業価値の向上に活用させていただく予定です。

## 株主資本等変動計算書 当事業年度 (自平成18年5月1日 至 平成19年4月30日)

(単位:百万円)

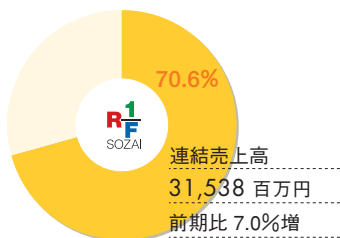
	株主資本									評価・換算差額等		純資産合計		
	資本金	資本剰余金		利益剰余金					自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金		評価・換算 差額等 合計	
		資本 準備金	資本 剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金									利益剰余 金合計
				配当準備 積立金	別途 積立金	固定資産 圧縮積立金	繰越利益 剰余金							
平成18年4月30日 残高	5,544	5,861	5,861	179	100	5,796	—	1,214	7,289	△207	18,488	195	195	18,683
事業年度中の変動額														
別途積立金の積立(注)						600		△600	—		—			—
固定資産圧縮積立金の積立								13	△13		—			—
剰余金の配当(注)								△159	△159		△159			△159
剰余金の配当								△159	△159		△159			△159
当期純利益								1,187	1,187		1,187			1,187
自己株式の取得										△0	△0			△0
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)												△74	△74	△74
事業年度中の変動額合計	—	—	—	—	—	600	13	255	869	△0	868	△74	△74	794
平成19年4月30日 残高	5,544	5,861	5,861	179	100	6,396	13	1,470	8,158	△208	19,356	121	121	19,477

(注)平成18年7月25日の定時株主総会における利益処分項目であります。

「アール・エフ・ワン」 164店舗



定番商品の品質向上、こだわりの素材を使った高付加価値商品の開発と導入、買い合わせ提案の強化による売上アップに取り組んでまいりました。さらに、地域別、曜日別、時間帯別の品揃え強化により、自社の他ブランド商品を導入するブランドミックス、商品ミックスに取り組んでまいりました。また、積極的な新規出店および店舗リニューアルに取り組んでまいりました。その結果、売上高は31,538百万円(前期比7.0%増)となりました。

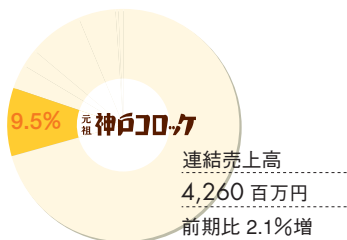


「神戸コロッケ」 58店舗

元祖 神戸コロッケ



じゃがいもやクリームなどの定番コロッケ素材・製法・技術の向上に取り組みました。また、新カテゴリーとして「じゃがいもとベシャメル」の店頭焼き上げグラタンシリーズや「神戸カツレツ重」などの導入を行い、新規顧客の開拓に努めました。また、買い合わせ提案として、「オリジナルウスターソース」「梅ソース」を発売しました。その結果、売上高は4,260百万円(前期比2.1%増)となりました。



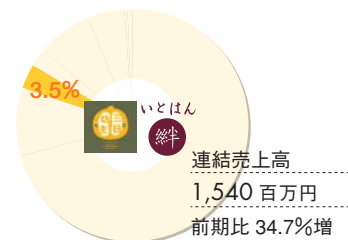
「三日坊主」「いとはん」 14店舗



いとはん



国内産の旬の素材を使用した「京都産九条ねぎと淡路ちりめんの和サラダ」や「ヤリイカの黒七味揚げ」など高付加価値商品の開発・導入を行いました。また、地域別、曜日別、時間帯別の品揃え強化に取り組みました。その結果、売上高は1,540百万円(前期比34.7%増)となりました。

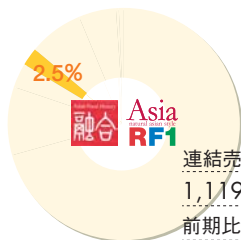


「融合」 「RF1 Asia」 9店舗



アジアの食文化をベースにした月替わり商品、「上海風やしそば」や「明太子ピビンバ」などの展開や四位農園産の里芋など産地や生産者にこだわった高付加価値商品の開発・導入を行いました。また、地域別、曜日別、時間帯別の品揃え強化に取り組みました。

その結果、売上高は1,119百万円(前期比8.1%増)となりました。

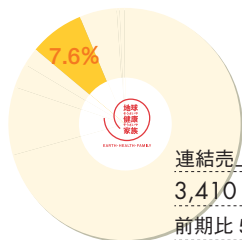


連結売上高  
1,119 百万円  
前期比 8.1%増

「そうざいや地球健康家族」 24店舗



「桜島どりの黒酢あんかけ」など定番商品の品質向上に取り組みました。また、食卓に新しい喜びと楽しみを届けるため、素材を国産素材にこだわり、最も美味しい時期に販売を限定した高付加価値商品「ここで発見×いまが美味」を展開したものの、売上高は3,410百万円(前期比5.3%減)となりました。

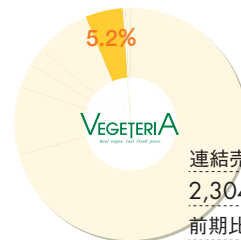


連結売上高  
3,410 百万円  
前期比 5.3%減

「ベジテリア」 38店舗



定番商品「健康バランス30品目」「ケール」の品質向上に取り組みました。また、「茨城のメロン」「福岡のあまおう」など旬と産地を厳選したフルーツジュースの提案を行いました。その結果、売上高は2,304百万円(前期比0.4%増)となりました。



連結売上高  
2,304 百万円  
前期比 0.4%増

## ● 会社情報 (平成19年4月30日現在)

### ■ 会社概要

社名	株式会社ロック・フィールド
設立	1972年6月8日
事業内容	そうざいの製造・販売
代表者	代表取締役社長 岩田弘三
資本金	55億44百万円
従業員数	1,278名(連結ベース、契約社員含む)
子法人等	Rockfield (California) Inc. (本社:米国カリフォルニア州) サンフランシスコにて店舗「DELICA rf-1」を運営 株式会社コウベデリカテッセン (本社:神戸市東灘区魚崎浜町27番地39)

### ■ 役員 (平成19年7月26日現在)

代表取締役社長	岩田 弘三
常務取締役	湯浅 勉
取締役	矢嶋 勝
取締役	尾崎 一郎
取締役	垣谷 優一郎
社外取締役	堀場 厚
社外取締役	寺田 千代乃
常勤監査役	渡辺 哲夫
監査役	三宅 良治
社外監査役	阿部 良男
社外監査役	林 義久
社外監査役	奥田 実

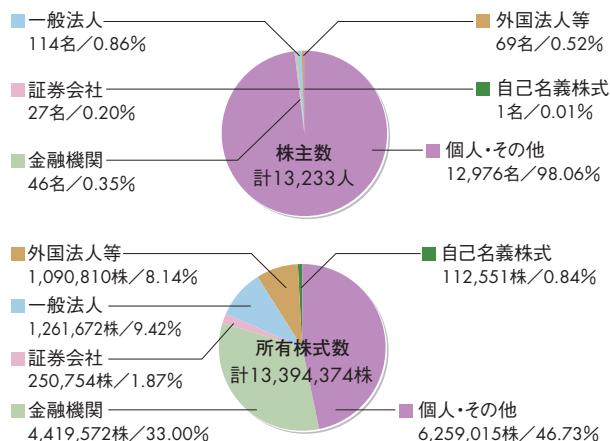
## ● 株式の状況 (平成19年4月30日現在)

発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式数の総数	13,394,374株
単元株式数	100株
株主数	13,233名

### ■ 大株主

株主名	持株数(株)
岩田弘三	1,527,868
明治安田生命保険相互会社	656,300
株式会社四国銀行	621,460
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	621,000
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	593,300
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	410,400
三菱UFJリース株式会社	241,032
ロック・フィールド取引先持株会	225,240
ロック・フィールド社員持株会	220,797
岩田夢隆	217,340

### ■ 所有者別分布状況



## ●株主メモ

事業年度	毎年5月1日から翌年4月30日まで
定時株主総会	7月
剰余金の配当基準日	期末 4月30日 中間 10月31日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所(お問い合わせ先)	〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-7777(通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店 野村證券株式会社 全国本支店 なお、株式関係のお手続き用紙のご請求は、以下の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。 電話(通話料無料) 0120-244-479(本店証券代行部) 0120-684-479(大阪証券代行部) インターネットホームページ <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>
公告方法	電子公告( <a href="http://www.rockfield.co.jp/">http://www.rockfield.co.jp/</a> ) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることが出来ない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。

### ●株主優待制度

当社店舗にてご利用いただける、  
おそうざい券(株主優待券)を進呈いたします。

保有株式数	おそうざい券
100株以上	1,000円分
300株以上	2,000円分
500株以上	3,000円分
1,000株以上	5,000円分
5,000株以上	10,000円分

### ◎優待内容

毎年4月30日現在の当社株主名簿および実質株主名簿に記載された100株以上ご所有の株主様を対象に、保有株式数に応じて、年1回おそうざい券を進呈いたします。

### ◎送付時期

毎年7月下旬に、株主名簿に記載された住所へお送りいたします。



## 株式会社 ロック・フィールド

神戸ヘッドオフィス	〒658-0024	神戸市東灘区魚崎浜町15-2	TEL.078-435-2800(代表) FAX.078-435-2805
東京オフィス	〒101-0044	東京都千代田区鍛冶町1-9-16丸石第二ビル	TEL.03-3526-6355(代表) FAX.03-3526-6356
神戸 ファクトリー	〒658-0024	神戸市東灘区魚崎浜町15-2	TEL.078-435-2200(代表) FAX.078-435-2210
静岡ファクトリー	〒438-0112	静岡県磐田市下野部2280	TEL.0539-62-5700(代表) FAX.0539-62-5041
玉川SPSファクトリー	〒213-0032	神奈川県川崎市高津区久地3-12-57	TEL.044-811-8171(代表) FAX.044-811-8199